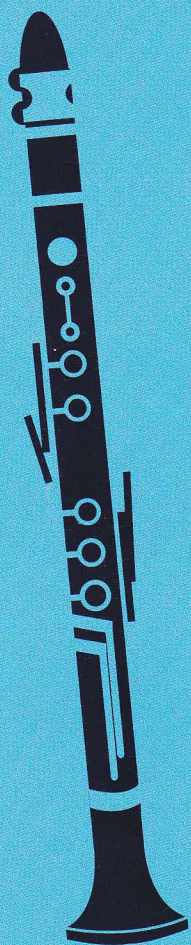
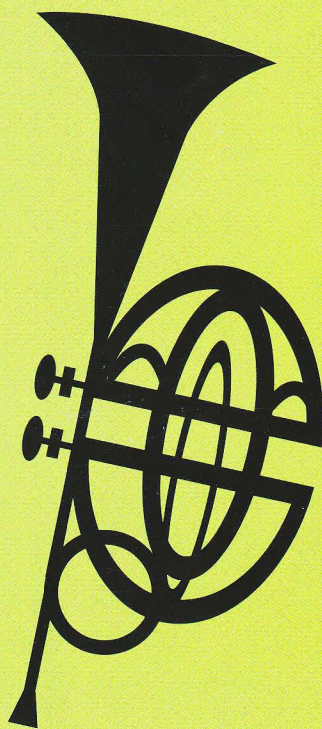


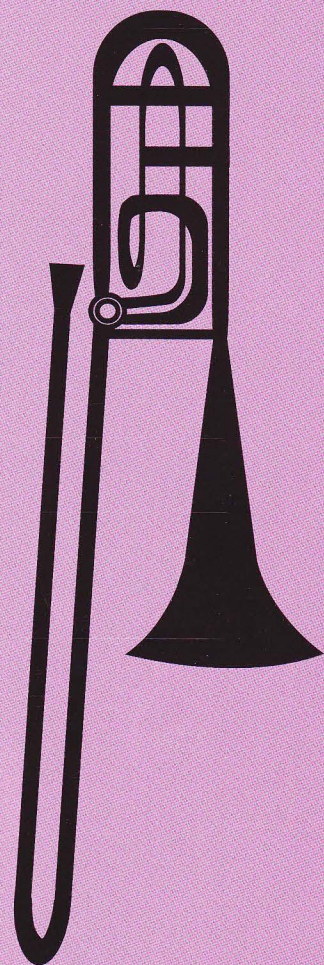
第41回防衛大学校 吹奏楽部定期演奏会



CLEAR!



BRIGHT!



SOULFUL!

2005年11月23日(水)
17:00 開場 17:30 開演
横須賀芸術劇場 大ホール

後援 横須賀市・横須賀市教育委員会

あいさつ・紹介

防衛大学校 学校長

西原 正



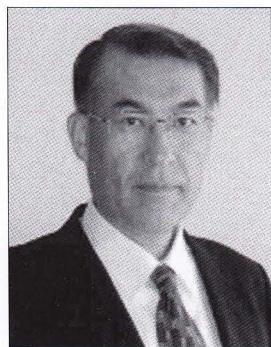
本日は、防衛大学校の吹奏楽部による定期演奏会にご来場下さいましてまことに有難うございます。吹奏楽部は防大開校記念祭の観閲式や卒業式の卒業生見送り行事などで演奏して大役を果たしており、防大の最も活発な校友会の一つです。学生たちは、毎日の多忙な勉学訓練の日課をくぐって本日のために励んできた練習の成果を精一杯発揮してくれるものと思います。

今日演奏する学生たちも卒業後は幹部自衛官となって、過酷な条件の下での国防、災害救援、海外派遣などの任務に就くこともあるでしょうが、本演奏会を通しての市民の皆様との交わりが、よき思い出として残り、彼らへの励ましになることを期待しています。

本演奏会を開催するにあたり、関係各位の多大なご支援とご協力に對して厚くお礼を申し上げます。

吹奏楽部 部長

電気電子工学科教授 井上 成美

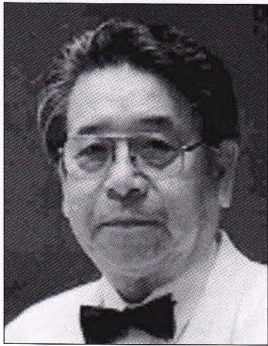


音楽には人の心をつなぐ力があります。演奏する人、聴く人の感情や息づかいがぴたりと同期した時の緊張と爽快感、まさにアンサンブルの醍醐味です。

今年も吹奏楽部の学生総勢約50名は、8月に千葉の岩井海岸の民宿にて平山先生のご指導の下、夏季合宿を行ないました。楽器の練習のほか、水泳やランニングなどの体力トレーニングと盛りだくさんのメニューをこなし、定期演奏会に向けて準備を進めてまいりました。今年は部創設50周年にもあたるのを機に新たな試みを企画し、芸術劇場大ホールにおいて、観客の皆様と一体となった素晴らしい演奏会を盛り立てようと意気込んでいます。どうぞ最後までごゆっくりとお楽しみ下さい。

おわりに皆様の日頃の温かい御支援に対しまして心より感謝いたします。

指揮者 平山 孝也



武蔵野音大管打楽器科卒、Bass・Euph.を佐藤倉平、作曲理論を八木伝、音楽総式を須磨洋朔の各氏に師事、陸上自衛隊中央音楽隊勤務を経て、九州及び関東地区の音楽隊長等を歴任、昭和61年6月、日本電気横浜吹奏楽団発足に伴い初代の指導者として、団員の育成にあたった。また平成9年4月より防衛大学校吹奏楽部の指導にあたる。

横須賀学院吹奏楽部講師

吹奏楽部OB会長 中埜 和男



第41回の定期演奏会おめでとうございます。

この定期演奏会が、横須賀市民をはじめ多くの人々に愛されていることを心から喜んでいます。

私達、防大10期生が4年生のとき、横須賀文化会館で第1回の定期演奏会を行って以来、皆様に愛され続けて今日に至っているのを見て、「ヤンチャな我々も、少しは良いことをしたな。」と誇りに思っています。

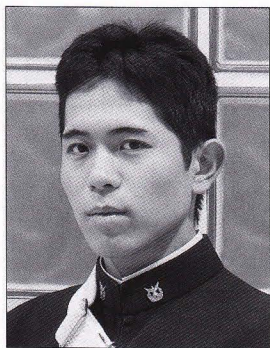
私は、陸上自衛隊を退官して、第2の人生を送っていますが、今も音楽を友として充実した日々を送っています。

今日の演奏会は学生にとって、青春の貴重な1ページになると思います。

お客様とともに学生の皆さんも楽しい時間を過ごされることを期待しています。

吹奏楽部50期主将

小寺 駿平



本日は防衛大学校吹奏楽部第41回定期演奏会にお越しいただきまして誠にありがとうございます。

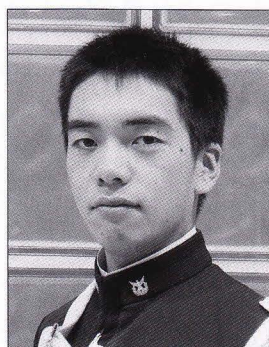
今年は部創設50周年であり、節目にあたる大事な年であります。50年前、音楽をやりたいという熱い想いを持った学生達が集まって吹奏楽部ができました。部員達が上手になろうと一生懸命楽器を練習して流した汗、音楽を通じて得られる喜びは50年経った今でも変わることはありません。

この1年間、幾多の失敗や挫折を乗り越えて練習してきました。吹奏楽においては楽器経験の年数に関係なく、ステージに立つメンバー全員がプレイヤーです。

本日は私たちが奏でるハーモニーを皆様にお届けします。どうぞごゆっくりお楽しみください。



50期副将 小澤 慶之



学生指揮 澤村 英一

プログラム

第 1 部

黎明

扶桑歌

軍艦行進曲

第 2 部

ウィナーズ

民衆を導く自由の女神

第 3 部

スターウォーズ

ピンクパンサー

川の流れのように

マンボのビート

ハード デイズ ナイト

マツケンサンバⅡ



第 1 部

黎 明

日本を代表する作曲家、故・黛敏郎氏が本校のために作曲された行進曲です。静かなスネアドラムの音から始まり、遠くから近づいてきて、去っていくかのような曲想は、まさに目の前を学生が行進していく様を表しているようです。

扶桑歌（抜刀隊）

陸上自衛隊の行進曲として有名なこの曲は、元は西南戦争のことを詠った詩に旋律をつけ歌にしたものです。さらにそこから行進曲にしたのが「分列行進曲」であり今の抜刀隊です。

軍艦行進曲

軍艦マーチという通称で親しまれている行進曲「軍艦」です。今でも海上自衛隊で用いられ、また、防衛大学校でも、月例観閲式訓練などでもマーチ曲として使われます。そんな行進曲ならではの勇ましい演奏をお楽しみください。

第 2 部

ウィナーズ

2003年度全日本吹奏楽コンクールの課題曲の中の1曲です。この曲はアスリートが勝利を手にするまでの決意や挫折、苦悩のエピソードが描かれています。その壮大なスケールの音楽をお楽しみください。

民衆を導く自由の女神

フランスの画家ドラクロワの同名の絵画をもとに作られた作品です。19世紀フランスに起きた7月革命をモチーフに描かれ、随所に表れる女神を意味するテーマを核として、革命の様子が巧みに表現されています。

第 3 部

スターウォーズ

新たに「スター・ウォーズ、エピソード3」が封切りとなり、今年も話題沸騰の映画の名曲の数々の中からメインテーマをお送りいたします。金管の華やかなファンファーレと木管の優雅なアンサンブルをお楽しみください。

ピンクパンサー

1963年にアメリカで公開された映画「ピンクの豹」のテーマ曲です。ヘンリー・マンシーニ作曲のこの曲はグラミー賞も受賞し、アニメキャラクターの「ピンクパンサー」とともに幅広い年代の人気を博しています。

川の流れるように

ご存知、美空ひばりの名曲です。これまで多くの人々に親しまれ、多くの歌手によって歌われてきました。そんななじみの深い曲を本日は吹奏楽の演奏でお楽しみください。

マンボのビート

この曲はラテンそのものの情熱的でソウルフルな音楽です。打楽器の軽快なリズムに身をまかせればこの曲を楽しめること間違いなしです。

ハード デイズ ナイト

ビートルズが英国をツアーしている時、あまりの忙しさに「A HARD DAY'S NIGHT」とリンゴ・スターが呟いたことがきっかけでこの曲が生まれました。その名の通り、日々の忙しさを表現した名曲です。

マツケンサンバⅡ

日本全国に旋風を巻き起こした大ヒット曲、「マツケンサンバⅡ」。煌びやかな衣装に身を包み、踊るサンバで幅広い年齢層から支持を得ました。聴いていると自然と元気が湧いてくる「マツケン」を本日お届けします。

吹奏楽部の活動

冬季月例観閲式訓練より

吹奏楽部部員で編成された音楽隊
(防衛大学校冬服音楽隊甲武装)



夏季月例観閲式訓練より

(防衛大学校夏服第1種音楽隊甲武装)



40回定期演奏会舞台裏



昨年度、第40回定期演奏会
リハーサル



平成17年度文化部合同発表会にて、記念講堂で演奏

開校祭野外ステージにて
吹奏楽部の有志演奏



今年度、夏合宿練習風景



夏合宿集合写真（防衛大学校第2種夏制服）

顧問・メンバー紹介

顧問



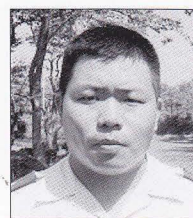
電気電子工学科教授

内田 貴司



情報工学科助教授

中村 康弘



防大指導教官

上拾石幸一



防大付曹

宮嶋 勇一



研究科課程

原田 京子

メンバー

Clarinet

永田 拓也 (4)
高橋 利佳 (3)
江川由美子 (3)
石橋 俊明 (3)
酒井 裕美 (2)
伊寶 加織 (1)
金井 敦朗 (1)
檜崎 一男 (1)

Piccolo & Flute

山田 英典 (3)
永田 英之 (3)
金子 裕美 (2)

Oboe & Bassoon

相曾 豪夫 (4)
山岡 香苗 (3)
柏原 光佑 (1)

Saxophone

小寺 駿平 (4)
塔筋 一生 (4)
金町 憲優 (3)
内田 大毅 (2)
堤 一平 (1)

Trumpet

小澤 慶之 (4)
西江 絢美 (4)
安達 勝也 (3)
斧田 英哲 (2)
中島 大貴 (1)

Horn

砂山 裕 (4)
白坂 翔 (3)
曾山 昌隆 (1)

Euphonium

松田 美虹 (4)
津田 裕介 (2)

Trombone

江花 敬典 (3)
西口 昌彦 (3)
中川 航太 (3)
新城 直人 (2)

Tuba

安斎 智広 (4)
坂本 亘 (3)
重 幹彦 (2)

Percussion

榎 真彦 (4)
小川 茂史 (3)
小出 健一 (2)
河野 純宏 (1)
北川 裕也 (1)

Contrabass

澤村 英一 (4)

※ () 内は学年

50期生より



前列左より

松田：4年間この部に育ててもらった想いが、今日皆様に響きますように。

小澤：この4年間で出逢えた人、音楽。そのどれもが大切なもの これからも

小寺：吹奏楽ってほんとに楽しいですね。4年間ありがとう！

澤村：素晴らしい先輩、同期、後輩に恵まれて幸せでした。ありがとう

塔筋：ホルン・コルネット・バリサキ・テナーサックス、4つもやれて俺は幸運だった。

相曽：皆と一緒に音楽ができたこと、それが何よりもよかったこと。

後列左より

西江：最後の青春時代の舞台だったと思います。

山田：音楽は日々の糧、生きる支え。吹奏楽に出会えたことは一生の財産です。

槇：ありがとう ありがとう。一緒に音楽作り上げてくのが楽しかった。

安斎：年々、貴重な時間をすごせました。ありがとうございました。

永田：吹奏楽部だから、この人たちと会うことができました。

砂山：俺に音楽の楽しさを教えてくれた皆ありがとう。

